

あの町この村

燕趙園に孔子、孟子像

東郷 松江の社長が寄贈

鳥取県東郷町引地の中庭園・燕趙園に、同園が設置準備を進めていた中国を代表する思想家、孔子と孟子の銅像が完成し十日、除幕式をして一般公開する。同園では、「中国らしさが増し、来園者に大陸気分を満喫してもらえる」と喜んでいる。

像は、孔子が高さ二・三メートル、重さ四百三十キログラム、孟子が二・三五メートル、重さ二百三十五キログラムで共に最大幅〇・八五メートル。集粹館前の多目的広場に置き、一辺〇・七三メートルの台座に乗せ東郷湖を背に南面する。

化三十年周年を記念して中国で製造した四体のうち二体を県に寄贈。県が約三百万円をかけ、設置工事をしていた。燕趙園は、県が中国河北省との友好締結五周年を記念し、同省の職人が来日して建築指導するなどとして一九九五年七月に開設した施設で、中国との縁が深い。除幕式には小松社長も来園して集粹館で行い、孔健・チャイニーズドラマゴン新聞編集主幹が「我が祖孔子と日本人の心」と題して記念講演する。

松江市乃木福富町、小松電機産業の小松昭夫社長（五七）が、日中国交正常



燕趙園に完成した孔子（手前）と孟子の銅像